

145解体用機械を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	8 ～ 9	流木撤去作業中に重機と接触し、腰を痛めた。	64	6	30199	—
2	2018	1	15 ～ 16	解体工事で発生したプラスチック等を入れたフレコンパックをひきずり移動させるために、被災者がフレコンパックの上部のフックに手をかけていた際に、バックホー（0.11t、フォークグラフ付）の運転者が被災者の手と結び目を一緒に掴んだため負傷した。	47	7	30202	30 ～ 49 人
3	2018	1	13 ～ 14	解体材搬出積み込みのとき、フレコンパック1t吊り作業時に、解体材とフレコンパックとの間に小型車系建設機械無資格者の運転によって、トラック荷台解体材とフレコンパック1tの間に手を巻き込み左手2本骨折、裂傷が発生した。	26	7	30309	1～ 9人
4	2018	1	11 ～ 12	建物解体工現場内にて、散乱していた木材を重機を用いかき集めている作業中に、集められていた木材が飛び跳ねて当たった。	21	4	30202	1～ 9人
5	2018	1	11 ～ 12	新築工事現場で、垂木を屋根上へ上げる作業を三人でしていたが、一人に負荷がかかる状態になってしまい、5m、40～50kgある垂木を支えきれず、バランスを崩してしまい梁の上から作業床まで約3m落下して頭を打った。	40	4	30209	10 ～ 29 人
			11	住宅の解体工事現場において、バックホーのアタッチメントをバケットからつかみに取り換えを行った。その後、外したバケット				10

6	2018	2	12	にワイヤーを掛けつかみで移動させていたが、ワイヤーが外れそうになっていることに気付いた被災者が、重機が止まったところで直そうと手を掛けたとき、バックホームを操作していた事業主がつかみを閉じてしまったため、右手を挟み怪我をした。	37	7	30202	～ 29 人
7	2018	2	12	11 梁を重機で解体中に、梁がハサミ機からすり抜け落下し、負傷した。	70	6	30309	—
8	2018	2	12	11 コンクリート壁を手持式ブレイカーを使って研り作業中、ブレイカーを壁の上に載せ叩いていたところ、ノミの先端が滑り落ち、左足に当たり数回程度足を叩き負傷した。	23	4	30201	1～ 9人
9	2018	2	15	14 既設管及び既設会所の撤去作業中、ハンドブレイカーを滑らせ自身の右足甲に落下し、負傷した。	19	4	170209	1～ 9人
10	2018	2	12	11 車止めコンクリートを取り壊している際、はつり機械が誤って滑り、足の甲に落下した。	35	4	30199	1～ 9人
11	2018	2	17	16 工場で廃鉄のガス切断作業中、脇で作業していたユンボが旋回した際に、掴んでいた鉄塊が左足にぶつかった。	59	6	150103	30 ～ 49 人
12	2018	3	11	10 住宅解体現場でパワーショベルを用いて解体作業中、作業員に指示するためパワーショベルの左側ドアを開け座席を立てて指示し座席に着席したときに、防寒着のポケットに左側操作レバーが引っ掛かりアームが作動、作業員が接触し転倒、キャタピラー付近に腰を強打した。	32	6	30209	1～ 9人
13	2018	3	10	9 社内で廃材の片付け中、バックホウ（重機）で廃材をつまむ際に、誤って作業員の手がぶつかり、左手親指に挫創を負った。	70	6	30199	1～ 9人

14	2018	3	13 ～ 14	水まきをしていたとき、他の作業員がユンボで10cm角の梁を引っぱって、建物から外れたとき、つかんでいた状態から梁がずれ、左太ももに当たった。	26	6	30209	10 ～ 29 人
15	2018	4	11 ～ 12	解体工（オペレーター）がバックホーで地下車庫横の宅地法面にて（道路との高低差3m）、地下車庫上部の鉄筋コンクリート梁を解体していた。そのときに、バックホーがバランスを崩し道路に転落した際にオペレーターがコックピットから飛び降り、着地時に鉄筋コンクリートガラの鉄筋に左腕及び左腰が接触し挫創及び裂傷を負った。	56	1	30209	10 ～ 29 人
16	2018	4	18 ～ 19	工場内で、コンクリート壁撤去工事中、コンクリートの欠片を取ろうとした際、パワーシャベルの先（アイヨン）と指が接触し、右人差し指を詰めた。	72	6	30309	1～ 9人
17	2018	5	13 ～ 14	工場内にて、荒選別作業中、廃タイヤを重機で挟んでもらうため、タイヤに手を添えていたため左手小指を重機の刃とタイヤの間に挟まれ被災した。	49	7	150102	30 ～ 49 人
18	2018	5	16 ～ 17	木造住宅切り離し解体工事の際、解体材を4tダンプトラックに重機積み込み作業中、荷台に登って解体材の並べ直しをしていた被災者が、バランスを崩し滑り落ちて受傷した。	49	6	30202	30 ～ 49 人
19	2018	5	16 ～ 17	倉庫内で機器材の整理作業中、斫り道具のブレーカーを片付けしている際に、手が滑り右足上に落としてしまい受傷した。	21	4	170209	30 ～ 49 人
20	2018	6	13 ～	解体工事現場で重機の後方で作業していたとき、重機が後方に移動	27	6	30209	30 ～

28	2018	8	13 ～ 14	ホースをどかそうとして、近くで作動中の重機が抗（鉄骨）を掴んで作業をしており、左足ふくらはぎにぶつかった。	41	6	30202	1～ 9人
29	2018	8	10 ～ 11	トラックに廃材をユンボにて積込中、荷台にて廃材を整理していたところ、廃材に少し触れて当たり、荷台より転倒して右足を骨折した。	57	6	30202	1～ 9人
30	2018	9	15 ～ 16	重機アタッチメントを取り外そうとして、重機ピンを金棒で突き抜こうとした際、ピンが抜けて重機のアームが下がり、金棒が反動で跳ね上がって、右目こめかみに衝突して負傷した。	46	6	30209	50 ～ 99 人
31	2018	9	10 ～ 11	重機を、敷地内から公道に出てコンテナに積み込むときに、第三者と接触しないように誘導している最中、重機の操作ミスにより右足を踏まれた。	77	17	30201	1～ 9人
32	2018	9	13 ～ 14	解体作業中、近くで可動していた重機に右足の先端が接触し、右足小指を負傷した。	21	6	30309	1～ 9人
33	2018	9	8 ～ 9	旧庁舎本館1階で天井の内装解体のため、天井ボードを軽量鉄骨下地等に分別後、アイアンフォークを装着したバックホウが最初に天井材をつかんだ際、被災者が下部に立ち入ろうとしたため別の作業員が注意して一旦退避した。2回目に天井をつかんだ際、被災者が再度下部へ立ち入ったが他の作業員は気付かず、オペレーターがアームを降ろしたところ、先端が被災者の頭部付近に接触した。	60	6	30309	10 ～ 29 人
34	2018	9	14 ～ 15	解体現場で重機の部品交換中、外れてはいけない部品が外れ、指を挟んで負傷した。	17	7	30209	1～ 9人
35	2018	9	15 ～	重機アタッチメントを取り外そうとして、重機ピンを金棒で突き抜こうとした際、ピンが抜けて重機のアームが下がり、金棒が反動で	46	6	30209	50 ～ 99

			16	跳ね上がって、右目こめかみに衝突して負傷した。					人
36	2018	9	10 ～ 11	重機を、敷地内から公道に出てコンテナに積み込むときに、第三者と接触しないように誘導している最中、重機の操作ミスにより右足を踏まれた。	77	17	30201		1～ 9人
37	2018	9	13 ～ 14	解体作業中、近くで可動していた重機に右足の先端が接触し、右足小指を負傷した。	21	6	30309		1～ 9人
38	2018	9	8 ～ 9	旧庁舎本館1階で天井の内装解体のため、天井ボードを軽量鉄骨下地等に分別後、アイアンフォークを装着したバックホウが最初に天井材をつかんだ際、被災者が下部に立ち入ろうとしたため別の作業員が注意して一旦退避した。2回目に天井をつかんだ際、被災者が再度下部へ立ち上がったが他の作業員は気付かず、オペレーターがアームを降ろしたところ、先端が被災者の頭部付近に接触した。	60	6	30309		10 ～ 29 人
39	2018	9	14 ～ 15	解体現場で重機の部品交換中、外れてはいけない部品が外れ、指を挟んで負傷した。	17	7	30209		1～ 9人
40	2018	9	15 ～ 16	重機アタッチメントを取り外そうとして、重機ピンを金棒で突き抜こうとした際、ピンが抜けて重機のアームが下がり、金棒が反動で跳ね上がって、右目こめかみに衝突して負傷した。	46	6	30209		50 ～ 99 人
41	2018	9	10 ～ 11	重機を、敷地内から公道に出てコンテナに積み込むときに、第三者と接触しないように誘導している最中、重機の操作ミスにより右足を踏まれた。	77	17	30201		1～ 9人
42	2018	9	13 ～ 14	解体作業中、近くで可動していた重機に右足の先端が接触し、右足小指を負傷した。	21	6	30309		1～ 9人
				旧庁舎本館1階で天井の内装解体のため、天井ボードを軽量鉄骨下					

50	2018	10	13 ～ 14	マンション中庭の改修工事中、階段のコンクリート基礎部をハンドブレイカーで解体していたとき、振動でノミが解体物から外れてしまい、誤って左足薬指を叩いた。	57	6	30201	～ 29 人
51	2018	10	13 ～ 14	解体工事現場で油圧ショベルを使って廃材の集積作業中、機械で掴んだ廃材が折れて跳ね返り、U字溝の清掃をしていた被災者の背中に当たった。	52	6	30209	10 ～ 29 人
52	2018	10	11 ～ 12	木造家屋の解体作業中、バックホウで壁を倒す際にガスを引き上げてしまい、ガス管が折れて被災者の右頬に当たった。	53	6	30202	1～ 9人
53	2018	10	13 ～ 14	鉄骨造平屋建ての物置の躯体解体作業をしていた。被災者が屋根材の切断状況を確認する際、重機の旋回範囲内で見ていたため重機の死角となり、重機オペレーターが気付かずに柱を引き倒した。その際、梁の軽量鉄骨の接合部ボルトが破損し、鉄骨が跳ね返って被災者の頭部に当たった。	60	4	30209	10 ～ 29 人
54	2018	11	13 ～ 14	被災者が、ヤードでスクラップコイルの溶接作業をしていたとき、ダンプカーのスクラップが崩れてきた。重機オペレーターが警報を2回鳴らして退避を促し、スクラップコイルを移動しかけたとき、巻き戻り止めの鉄バンドがマグネットに当たって切れてしまい、コイルが被災者に当たった。	68	6	30199	100 ～ 299 人
55	2018	11	15 ～ 16	2階建てRC住宅の改修工事で、壁式コンクリートブロックをコンクリートブレイカーで解体していた。先端部分が突き抜けやすいので注意をしていたが、力を入れた際に刃が入り込み、体勢を崩して前のめりになった。その際、コンクリートブレイカーの持ち手とブロックの間に右手人差し指を挟み、挫滅創を負った。	43	7	30209	1～ 9人
56	2018	12	11 ～	解体用機械のフォークを使い、作業していた。フォークで掴んだとき、材木が被災者に当たり倒れた。	64	6	30309	1～ 9人

			12					
57	2018	12	16 ～ 17	作業場の集積されたコンクリート片の上（高さ1m程度）で、パワーショベルでコンクリート片を粉砕する作業中、アームを振った際にバランスを崩し、パワーショベルごと転倒した。その際に体をパワーショベルの窓ガラスに打ちつけ、負傷した。	64	2	10909	30 ～ 49 人
58	2018	12	23 ～ 24	鑄造工場で、老朽化した取鍋内部の耐火材を解体作業していたところ、エアブレイカーの先端が滑り、握りの部分と取鍋の縁の間で指を挟み、骨折した。	64	7	11502	50 ～ 99 人
59	2018	12	15 ～ 16	商店敷地内作業場でスクラップを切断する作業中に、重量物を木厘木の上に設置しようとして作業者がスクラップに近寄ったときに、重機オペレーターの注意不足でスクラップを重機から離れたために、スクラップと地面の間に右手を挟む負傷した。	64	4	80109	1～ 9人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。